

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

#REF!

計画の名称	16 史都「平泉」を訪れる観光客と平泉町民が安心して利用できる道づくり（防災・安全）							重点計画の該当				
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）			交付対象	平泉町							
計画の目標	観光客と地域住民が安全、安心に利用できる道路環境整備											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の歩道整備率</li> <li>・長寿命化計画に伴う橋梁の修繕</li> </ul>											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)						
	歩道整備済延長／通学路延長×100%			38.2	49.5	57.9						
	修繕済橋梁数／修繕対象橋梁数×100%			-	8.6	17.2						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,426百万円	A	1,396百万円	B	0百万円	C	30百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	2.1%

交付対象事業

A 基幹事業（海岸事業）																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
16-A-2	道路	一般	平泉町	直接		市町村道	交安	(他) 中学校線 志羅山工区	L=79.9m W=9.5m	平泉町						80	-	-	H28
16-A-3	道路	一般	平泉町	直接		市町村道	交安	(1) 祇園線 祇園工区	L=1,570m W=9.5m	平泉町						850	-	-	H32
16-A-6	橋梁	一般	平泉町	直接		市町村道	修繕	橋梁修繕	対象橋梁数 N=58橋	平泉町						200	-	-	策定済
16-A-7	道路	一般	平泉町	直接		市町村道	交安	(2) 倉町線 倉町工区	L=600m W=9.5m	平泉町						100	-	-	H32
16-A-8	道路	一般	平泉町	直接		市町村道	交安	(他) 衣関線 衣関工区	L=100m	平泉町						86	-	-	H32
16-A-9	道路	一般	平泉町	直接		市町村道	交安	(他) 佐野原祇園線 祇園工区	L=200m W=9.5m	平泉町						80	-	-	H32
16-A-10	道路	一般	平泉町	直接		市町村道	点検・調査	定期点検及び補修（橋梁、舗装、法面、付属物 他）	対象構造物一式	平泉町						30	-	-	H31
											小計					1,396			

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31				
1-B-1																		
											合計							

番号 1-B-1 一体的に実施することにより期待される効果

備考	
----	--

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31				
16-C-2	点検	一般	平泉町	直接		市町村道	点検	定期点検及び補修（橋梁、舗装、法面、付属物 他）	対象構造物一式	平泉町						30	-	H31
											合計					30		

番号 16-C-2 一体的に実施することにより期待される効果

経済活動の基盤となる道路の点検及び補修を行い、快適で安全・安心な道路環境を構築する。

備考	
----	--

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
											合計					0	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考	
----	--

その他関連する事業

計画等の名称「史都「平泉」を訪れる観光客と平泉町民が安心して利用できる道づくり														
事業種別	交付対象	要素となる事業名					事業内容	市町村名	全体事業費 (百万円)					備考
新規	道路	平泉町	(他) 祇園線 平泉SIC工区					平泉町	800					

A	800百万円	B	0百万円	C	0百万円	(C+C')/(A+A'+B+B'+C+C')	1.3%
---	--------	---	------	---	------	-------------------------	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備を進めることで、観光客と住民が、安心、安全に利用できる道路環境を整えることが出来た。</li> <li>・橋梁点検を実施し、現状を把握しながら適切な修繕工事を計画的に実施することで、橋梁の安全性、道路ネットワークの信頼性が確保された。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（通学路 の歩道整備）	最終目標値	58%	目標値と実績値 に差が出た要因	財政的理由により、町道倉町線の事業着手が延伸となったことで差が生じた。
			4.1km / 7.1km		
	最終実績値	44%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		3.1km / 7.1km			
指標②（長寿命 化計画に伴う橋 梁の修繕）	最終目標値	17%	目標値と実績値 に差が出た要因	財政的理由により、年度事業費が決まっており、長寿命化計画により事業規模が大きい橋梁から修繕したことで差が生じた。	
		10橋 / 56橋			
最終実績値	14%	目標値と実績値 に差が出た要因			
	8橋 / 56橋				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備については、他補助事業等と併せて引き続き事業を進めることで、利用者が安全、安心に利用できる道路整備を行う。</li> <li>・橋梁修繕については、補助事業へ移行となるが、長寿命化計画に基づいて引き続き事業を進め、安全性、道路ネットワークの信頼性を確保する。</li> </ul>					

(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	16 史都「平泉」を訪れる観光客と平泉町民が安心して利用できる道づくり (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	平泉町

